



新聞まさひこ通信

あけぼの曙

公明党福岡県議団 会報

発行責任者
福岡県議会議員
新開昌彦

福岡市早良区曙 2-1-35
Vol.42 平成 21 年 4 月 2 日発行

議会報告

2月24日から3月26日まで福岡県議会定例(予算議会)会が開かれ、平成21年度予算案を審議し可決成立しました。

特に、**雇用創出・地域経済活性化対策**を柱に平成20年度2月補正予算と一体となった14か月予算として推進することとなりました。

① 行政施策費は、平成20年度2月補正予算に計上した119億円と当初予算の合計で、前年度当初予算と比べ、626億円、33.5%の増となりました。

② 単独公共事業費については、平成20年度2月補正予算に計上した41億円と当初予算の合計で、前年度当初予算に比べ、77億円、8.0%の増となりました。

また、職員定員の削減等により人件費は33億円の減となりました。

21年度予算は、一般会計で、1兆5,892億円、特別会計4,054億円、企業会計で90億の予算規模となりました。

青パト支援について一般質問 (第二弾)

質問

福岡県内の青パトを使った地域防犯活動は、制度導入の平成16年から年々広がりを見せ、防犯パトロール団体は356団体、青パトは、945台となっている。

青パトの車検証には「**自主防犯活動自動車**」と記載され、警察、国土交通が認知した車である。

しかし、この運営と経費捻出は、実施者の努力に委ねられている。

①自動車税・軽自動車税の軽減②掛け金安い青パトの任意保険が創れないか。③毎月の道路使用許可証・三ヶ月に一度の設備外積載許可申請書を最寄の交番でできないか。

答弁

平成16年の青パト制度導入前と現在の街灯犯罪認知件数の推移は、78,000件から昨年は49,000件にと約37%の減少となった。

① 自動車税(県税)、軽自動車税(市町村税)の軽減と任意保険の創設を研究する。

② 青パトにかかる道路使用許可等の申請は、地域の実情などを勘案して適切に対処する。

3月27日、21年度予算採決前の忙しい衆院議員会館で**神崎武法**衆院議員(公明党常任顧問)に青パトの支援策を陳情しました。

青パトは、平成16年から全国でも普及し、昨年末の台数は26,350台。登録団体数は、6,556団体。刑法犯認知件数は、35%減少している。

神崎武法衆院議員は、青パトの犯罪抑止、公共性を理解し、地域の安全のために青パトの普及は、大事。負担軽減のために私も応援しますよ。と応じていただきました。①**自賠償保険、重量税の軽減**

②**青パト専用任意保険の創設**。を陳情。

公明党常任顧問神崎武法衆院議員に陳情



松野市議・新開・神崎常任顧問・橋田さん・野田県議
橋田さんは南区西高宮校区のミニパト隊長

福岡県のニューディール政策

新製品・新市場・雇用創出のための 16 プロジェクトで経済危機を脱出！
福岡が日本をリード！

「水素家庭用燃料電池・燃料電池車」開発による 低炭素社会の構築

石油の可採年数は今後41年間しかありません。
石油に代わるエネルギー開発が急がれています。

九州大学の水素の研究は世界一。

福岡水素エネルギー戦略会議がこれを推し進め、
研究から新産業の育成、集積まで取り組む。

- ☆ 前原市に家庭用燃料電池を設置した「水素タウン」150世帯の実証実験は**世界一**。
- ☆ 今年度から開始される「北九州水素タウン」「水素ハイウェイ(燃料電池車の実施走行)」
- ☆ 22年度「水素エネルギー製品試験研究センター」開設することで、水素の世界基準を確立する。

ペプチドワクチンによる第4のがん治療法の実現

福岡バイオバレープロジェクトの研究成果で久留米大学のペプチドワクチン療法は、**患者自身の免疫機能を活性化し、がん細胞を攻撃する究極の治療法**。

- ☆ 外科、薬物、放射線療法に次いで**第4の治療法として世界最先端の「がんペプチドワクチン」を実現化**する。
- ☆ 患者の体質に応じたワクチンを選択するため、効果が高く、副作用も少ない治療として世界が注目する。

情報システム共通基盤の開発による 次世代電子政府・自治体の実現

行政の電子化が大きく遅れています。
国、自治体・企業が相互に連携できる情報システムを開発し利便性の高い行政サービスを目指す。

- ☆ 住居移転や結婚、出産、退職などの手続きを役所に行かなくてもネット上で一度にできるようにしていく。

- ①重点四分野(農業・福祉・新生活産業・安全)への人材移転政策
- ②高齢者にやさしい自動車開発プロジェクト
- ③「水素家庭用燃料電池・燃料電池車」開発による低炭素社会の構築
- ④石炭ガス化・高効率発電システムの開発
- ⑤超小型無線機による次世代高速大容量情報ネットワークの構築
- ⑥日本発明プログラミング言語 Ruby による新ソフトウェア産業の育成
- ⑦情報システム共通基盤の開発による次世代電子政府・自治体の実現
- ⑧ペプチドワクチンによる第4のがん治療法の実現
- ⑨医療・介護・生活支援ロボットの開発
- ⑩アジア若者文化ファッション交流拠点プロジェクト
- ⑪コンテンツ産業の拠点構築プロジェクト
- ⑫インターネット通販拡大大作戦
- ⑬デザイン刷新による売れる商品作り
- ⑭世界で売れる地域特産品づくりプロジェクト
- ⑮レアメタルリサイクルプロジェクト
- ⑯炭素繊維の用途拡大とリサイクル

